

CDDP+VP-16併用療法（SH法）

シスプラチン

80mg/m2

day1

ベプシド

100mg/m2

day1～3

適応： 小細胞肺癌

審査日： 2019年 10月 22日

承認日： 2019年 10月 22日

催吐リスク：

HEC

血管外漏出リスク：

炎症性

1サイクル期間：

21日間

Rp	時間	薬剤	投与方法	投与時間	day1	day2	day3	day4	day5	day6	～	day21
①	プライミング用	生理食塩水50ml	点滴静注		●	●	●					
②	9:00	イメンドカプセル125mg 1Cap	内服		●							
③	10:00～10:30	生理食塩水100ml+アロキシ0.75mg+デキサート9.9mg	点滴静注	30分	●							
④	10:30～12:30	生理食塩水500ml+ベプシド	点滴静注	120分	●							
⑤	12:30～13:30	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq+硫酸Mg 8mEq	点滴静注	60分	●							
⑥	13:30	ラシックス20mg	静注		●							
⑦	13:30～15:30	生理食塩水500ml+シスプラチン(合計500ml)	点滴静注	120分	●							
⑧	15:30～16:30	ラクテック500ml+アスパラK 10mEq	点滴静注	60分	●							
⑨	9:00	イメンドカプセル80mg 1Cap				●	●					
⑩	10:00～10:30	生理食塩水100ml+デキサート3.3mg	点滴静注	30分		●	●					
⑪	10:30～12:30	生理食塩水500ml+ベプシド	点滴静注	120分		●	●					
⑫	フラッシュ用	生理食塩水50ml	点滴静注		●	●	●					
⑬	9:00	デカドロン錠4mg 2錠	内服					●				

プレ Medikation	特になし
Post Medikation	点滴開始前～点滴終了後および3日目まで1日1000mLを目安に飲水。
投与・調整時に注意する点	VP-16は本剤100mgあたり250ml以上の生理食塩水に溶解し、できるだけ速やかに使用（濃度0.4mg/ml以下になるように溶解）。pH3.3～4.5と酸性であり、血管刺激性が強い。急速投与により一過性の血圧低下や不整脈が報告されているため投与時間を守ること。非ポリカーボネイト製、非ポリ塩化ビニル製の器材を使用。セルロース系のフィルターの使用を避けること。

【根拠となる論文】

Fukuoka M. et al. Randomized trial of cyclophosphamide, doxorubicin, and vincristine versus cisplatin and etoposide versus alternation of these regimens in small-cell lung cancer. J Natl Cancer Inst. 1991 Jun 19;83(12):855-61.